

8ページからも分かるとおり、今回の推計では、将来人口が前回推計よりも減少速度が緩やかになったことがわかります。

2040年の将来人口は、2015年※と2020年※の将来人口を比べると**約4,000人(7.8%)増加**していることが分かります。

今後、今回公表された推計をさらに分析し、計画や各施策に落とし込むことで、引き続き、目標達成に向けて取り組んでいきます。



<表2>兵庫県内市町の2040年将来推計人口増加率ランキング

	県内市町	2015年※ (前回推計)	2020年※ (今回推計)	増加率
1	三木市	53,610人	57,780人	7.8%
2	尼崎市	390,642人	419,377人	7.4%
3	宝塚市	194,439人	207,729人	6.8%
4	明石市	269,525人	287,248人	6.6%
5	淡路市	30,725人	32,506人	5.8%
6	猪名川町	23,675人	24,928人	5.3%
7	上郡町	8,457人	8,846人	4.6%
8	伊丹市	176,810人	184,789人	4.5%
9	宍粟市	22,350人	23,317人	4.3%
10	たつの市	57,099人	58,871人	3.1%

(出典)国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来推計人口」を基とし、令和6年1月20日の日本経済新聞の掲載記事を参考に市が作成。

※基となる国勢調査の年。

5年間で(2015年→2020年) 三木市の 将来推計人口が 4,000人増加

問(市)縁結び課 地方創生係

「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」が国立社会保障・人口問題研究所※から公表されました。この推計は、将来人口を、都道府県別・市区町村別に求めることを目的としたもので、令和2(2020)年の国勢調査を基に、男女・年齢(5歳階級別)に推計されたものです。

ここでは、令和6年1月20日の日本経済新聞の掲載記事を参考に2040年時点の将来推計人口をお知らせします。



※約80年以上にわたり、年金や国民健康保険といった社会保障や福祉についての基礎データとなる人口推計について研究している機関。

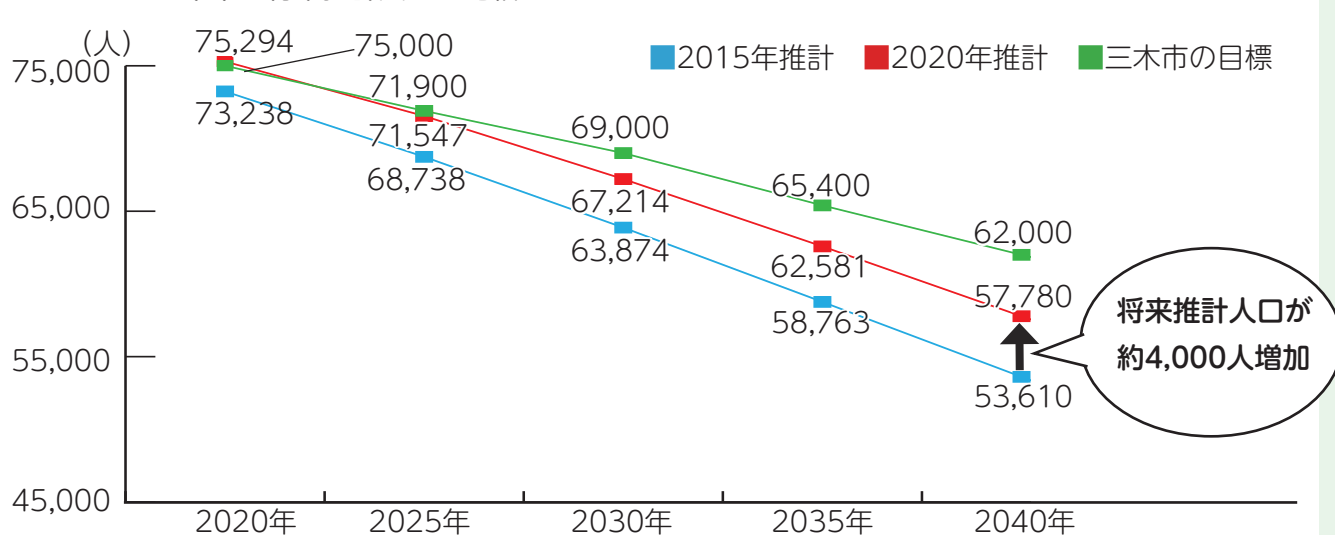
▶三木市の将来推計人口の結果

今回の推計では、前回推計と比較して将来人口の減少が抑制されています。**2040年時点の将来人口は上回る結果となりました。**

<表1>調査年ごとの2040年将来推計人口予測

基となる 国勢調査の年	0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計
2015年 (前回推計)	4,699人	24,492人	24,419人	53,610人
2020年 (今回推計)	5,097人	27,997人	24,686人	57,780人
増減	+398人	+3,505人	+267人	+4,170人

<グラフ1>三木市の将来推計人口の比較



(出典)国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来推計人口」

住民税非課税世帯への給付金申請はお済みですか？

物価高騰対策

物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい令和5年度住民税非課税世帯に対して、1世帯あたり7万円を追加給付しています(物価高騰対応重点支援給付金)。

対象者
・対象となる可能性のある世帯には、すでに給付の確認書などを送付していますので、確認書に必要事項



▲ホームページはこちら

申請期限 3月29日(金)必着
問・申請(市)非課税世帯特別給付金
コールセンター

☎86・9955

住民税均等割のみ課税世帯に10万円を給付

物価高騰対策

物価高騰対策として令和5年度住民税均等割のみ課税世帯に、10万円の給付を実施しています。市では、対象となる可能性のある世帯にはすでに確認書などを送付しています。給付を受け取るには、期限までに確認書などの返送が必要です。なお、案内が届かない場合であっても、給付対象の可能性がります。

こども加算

住民税非課税世帯と住民税均等割のみ課税世帯のうち、平成17

申請期限 3月29日(金)必着

問・申請(市)総合経済対策給付金

コールセンター

☎86・6660



▲均等割のみ課税世帯



▲こども加算